

【さくらの特徴】

エビデンスに基づく専門的な支援

児童の興味や遊びを上手に引き出す専門職の保育士だけでなく、言語聴覚士・作業療法士といったセラピストを配置しているため、科学的根拠に基づいた療育（遊び）を提供します。NC プログラムや SP(日本版感覚プロファイル)、LC-R、質問応答関係検査をはじめとした各種アセスメントツールを活用し専門的支援プログラムを組んでいます。

早期介入を重要視

自閉スペクトラム症や境界知能の方の発達段階を踏まえ、早期介入における大人やお友達と触れ合う中で、自分の感情をコントロールする力、人とうまく関わる力、目標に向かって頑張る力、苦難を乗り越える力の向上を図っています。

家庭との協働

HUG アプリの『保護者との連絡機能』を使い、チャット形式で連絡・相談に応じます。また保護者面談などの来所の機会を通して、家庭でできる構造化や視覚支援などのご提案、家族支援をしています。

医療的ケア児の受け入れ

痰の吸引、経管栄養、気管カニューレ管理や胃ろう管理といった医療的ケアが必要なお子さんも安心して利用していただけるように、常勤の看護師のほかに、訪問看護ステーションから看護師が訪問する医療連携をとっています。